

一括公表

【平成19年度上期】

区分		18年度 4-9月	18年度 10-3月	19年度 4-9月	備考 (平成19年度上期における主な事例)
インシデント	レベル0	363	355	618	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症患者が無断で病棟を離れたが、外来ロビーで発見した。 ・入院患者に与薬する際、薬の不足を投与前に気がついた。(調剤ミス) ・保護室の内側の窓が施錠されていなかった。 ・注射指示箋に他の患者の名前を印字したが、注射前に気がついた。 ・点滴に混注する薬液を間違えたが、投与前監査の際に気がついた。 ・配膳ミスにより禁止食物を配膳したが、摂食前に気がついた。 ・造影剤の血管用と脊髄用を間違えたが、使用前確認で気がついた。 ・透析除水量の計算違いをダブルチェックで気がついた。
	レベル1	1,307	1,159	1,374	<ul style="list-style-type: none"> ・認知症の患者がトイレに行く際に転倒した。(外傷なし) ・入浴時に患者が尿カテーテルを自己抜去した。 ・痛み止めを皮下注射指示のところ、誤って筋肉注射した。 ・朝の血糖検査指示を忘失した。(未実施) ・中止指示のあった薬を誤って1回与薬した。 ・患者が食事中にリングをのどに詰まらせた。(ハイムリッヒ法で除去) ・認知症の患者がクッションのスポンジを口に入れていた。 ・検査の指示項目を間違えて実施した。 ・一日1回の薬(座薬)を2回投与した。 ・採血の指示を見落としした。(未実施) ・点滴の接続部がはずれていたのを患者家族が気がついた。 ・トイレの床にタバコの灰が落ちていたのを発見した。(館内全面禁煙)
	小計	1,670	1,514	1,992	
アクシデント	レベル2	194	115	140	<ul style="list-style-type: none"> ・車いすから立ち上がった際に転倒した。(眼瞼2cm腫脹) ・輸液ポンプコードにつまづき転倒した。(左耳裂傷) ・トイレへ移動中転倒した。(下顎部裂傷) ・トイレ介助時に転倒した。(左眉部裂傷創縫合) ・隔離室に強制誘導の際、仙骨部に表皮剥離が生じた。(引きずったため) ・麻痺のある上肢がベッドサイドレールと壁に挟まっていた。(上肢変色) ・造影CT検査にて操作ミス、造影剤を倍量投与した。(点滴治療) ・輸液ポンプの設定を間違えた。(経過観察したが異常なし) ・透析患者の機器の時間設定を間違えた。(経過観察したが異常なし) ・服薬自己管理の患者が一日分を一度に内服(経過観察したが異常なし)
	レベル3 ※過誤無し	9	8	10	<ul style="list-style-type: none"> ・患者が車いすを自ら押しながら歩行中に転倒。(左大腿頸部骨折) ・見守り歩行患者からのナースコールで訪室すると転倒していた。(大腿骨頸部裂傷骨折) ・トイレに行くよう声かけをした際、ベッドサイドで転倒。(左大腿骨転子部骨折) ・左腸骨部に痛みがあり、検査したところ骨折していた。 ・無断離院した患者を職員が呼び止めたところ、逃げようとして転倒。(大腿骨骨折)
	レベル3 ※過誤有り	0	1	1	・手術後、体内にガーゼを残置した
	レベル4a				
	レベル4b				
レベル5	3	1	0		
小計	206	125	151		
合計	1,876	1,639	2,143		